

様式1（介護ロボット等モニター調査事業 資金交付申請書）

平成27年12月16日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（申請者）

〒 470-0217
住所 愛知県みよし市根浦町五丁目3番地1
事業者名 株式会社シンテックホズミ
担当者所属 事業企画室
担当者名 柴田友宏
電話番号 0561-35-5765
電子メールアドレス t-shibata@shcl.co.jp

介護ロボット等モニター調査事業 資金交付申請書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して申請します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査計画書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）

（本書類の取り扱い等について）

- ご提出いただく「モニター調査計画書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングのために公開いたします。公開可能な範囲において、できる限り記載してください。
- 「モニター調査計画書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングに際して、インターネット等を通じて登録協力施設等へ情報提供します。
- 依頼する案件について、モニター調査に協力いただける介護施設又は団体等が現れない場合には、実施できない場合もあることを予めご承知置きください。

(別紙)

平成27年12月16日


介護ロボット等モニター調査計画書

1. 申請者の概要

事業者名	株式会社シンテックホズミ	
担当者名	柴田友宏	
担当者連絡先	住所	〒470-0217 愛知県みよし市根浦町五丁目3番地1
	電話	0561-35-5765
	電子メールアドレス	t-shibata@shcl.co.jp
主たる業務	自動車用生産設備の設計・製作・据付工事、 自動車用整備マニュアル制作	
主要な製品	無人搬送車（AGV）、溶接用治具設備、取扱説明書、修理書など	
希望する施設等の種類・職種等	シルバーカーや歩行車を利用し、日頃から1人で外出している 高齢者が居る施設等	
希望するエリア	愛知県	
その他		

2. 申請機器の概要

機器の名称（仮称）	高齢者向け屋外移動支援モビリティ（TecPo：仮称）
機器の概要 （写真添付）	<p>1. 主な対象者</p> <ul style="list-style-type: none">・シルバーカーや歩行車を使用し、1人で外出している方・1人で歩行、立ち座りをしている方・支持なしでの歩行が不安定な方・ハンドブレーキを握ることができる方・本機の操作方法を理解することができる方 <p>2. 目的</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者の屋外移動時の負担をロボット技術で軽減し、高齢者が外出することや歩くこと、社会参加の意欲を失うことなく、自立した日常生活の維持・心身の健康期間を延伸することに貢献する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外出時の重い荷物運搬や上り坂での移動、お買い物等での長距離移動の負担を電動アシスト機能で軽減する ・ モビリティの速度を常に監視し、設定速度以上になると自動減速し、転倒リスクを軽減する ・ 下り坂を検知すると自動で下り坂モードに切り替わり、モビリティの先走りを防いで転倒リスクを軽減する <p>3. 写真</p>  <p>4. 使用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①電源を入れ、駐車ブレーキを解除する ②両手でハンドルグリップを握り、モビリティを押して前進、人の力で操舵し、手前に引くまたはハンドブレーキを握ると減速/停止する ③電動アシスト機能は、ハンドルグリップを押すことで作動する。電動アシスト機能での操舵は、片側のハンドルグリップを押すことで操舵できる。 ④ハンドルグリップが押力を検知していない時や電源OFFの時は、電動アシスト無しのロータ型歩行車として使用できる ⑤身体能力に合わせて、設定最高速度を3段階で調整できる ⑥本体速度を常に監視し、設定最高速度以上になると自動減速する。下り坂は、設定最高速度を自動で下り坂モードに切り替え、速度を抑制して使用できる。
<p>現在の開発状況と課題</p>	<p>機器に関するリスクアセスメント（安全性の評価と確保対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ISO13482に基づき、社内でリスクアセスメントを実施</u> ・ <u>日本自動車研究所内の生活支援ロボット安全検証センター（つくば市）で安全検証試験を実施</u> <p>現在の開発に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の軽量化、コスト低減 ・ 操作性の向上

3. モニター調査の内容（お願ひしたい内容をできるだけ具体的に記載してください。）

- ・日常、シルバーカーや歩行車を使用し、1人で外出している方2名を対象に自己対照試験で実施する。最初にシルバーカー/歩行車を用い、後日モビリティを用いる。

- ・評価項目と内容
 - ① 屋内の扉の開閉、及びエレベーター利用時のモビリティの扱いやすさ
観察・聞き取り調査
 - ② 10kgの荷物有無での屋内外坂道（登坂/降坂）歩行における移動時間及び加速度変化
屋内：当社からスロープを持ち込み
屋外：実際に屋外の歩道または駐車場等のスロープで計測
走行距離、速度、加速度を測定するデータロガーを設置して計測
 - ③ モビリティの使用感
観察・聞き取り調査
 - ④ 職員の方の所感、ご意見の確認
インシデントやお気づきのことを聞き取り調査

- ・シルバーカー/歩行車は、被験者の方が日常利用しているものをお借りする（希望）。
実証試験中は、シルバーカー/歩行車にデータロガーを設置するが、
試験終了後、毎日取り外す。
- ・実証試験中は、写真やビデオカメラによる撮影がある。
- ・モビリティの試験を実施する前に数日間の練習期間を設ける。
- ・実証試験の期間、時期、人数は、別途ご相談。
- ・以下の方は禁忌とする。
 - 1) 1人で歩行、立ち座りができない方
 - 2) ハンドブレーキを握ることができない方
 - 3) 手や足に麻痺がある方
 - 4) 重度認知症の方
 - 5) モビリティの操作方法を理解できない方
 - 6) モビリティを使用することで増悪の可能性がある疾患をお持ちの方
例：狭心症、心筋梗塞の既往、不整脈、変形性股関節症、
変形性膝関節症、腰部脊柱管狭窄症 等

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

TECHNOLOGY BY SYNERGY

ものづくりも、
未来づくりも。

TECHNOLOGY BY SYNERGY



株式会社 シンテックホスピス

本社
〒470-0217 愛知県みよし市穂波町五丁目3番地1
TEL: 0561-33-5600(代) FAX: 0561-33-5678

東京営業所
〒140-0013 東京都品川区東大井6-11-12 大森プライムビル1F
TEL: 03-4044-8240 FAX: 03-4041-8261

天津営業所
〒300081 天津市西青区津港工業園13号
TEL: +86-22-8398-3652(代) FAX: +86-22-8398-3657

天津神技治具設備有限公司 (Tianji)
〒300081 天津市西青区津港工業園13号
TEL: +86-22-8398-3652(代) FAX: +86-22-8398-3657

現場方針

基本理念
増進問題が人類共通の重要課題であることを深く認識し、継続性のある発展のため、株式会社シンテックホスピスは広く社会に貢献することを経営の第一として、地球環境および地域の保全に向けて積極的に企業活動を推進します。



340-15

会社概要



設立	1992年8月1日
資本金	30億6,000万円
株主	トヨタ自動車株式会社 70% 他
従業員	420名
関連会社	神農グループ 神農工業(株) 神農機械(株) (株)神農 (株)シムエスエテック 神農工業(株)
役員	代表取締役社長 吉村 和彦 取締役 青木 浩夫 専務取締役 久松 隆三 取締役 窪田 弘嗣 取締役 杉村 孝博 取締役 岸田 弘文 取締役 高橋 寛 取締役 大野 秀樹 取締役 森村 善行 監査役 大野 秀樹 (取締役会委員長)
本社	〒470-0217 愛知県みよし市穂波町五丁目3番地1 TEL: 0561-33-5600(代) FAX: 0561-33-5678
海外子会社	天津神技治具設備有限公司 TEL: +86-22-8398-3652(代) FAX: +86-22-8398-3657
主要お取引先 (限不詳)	トヨタ自動車 産ジェイテクト トヨタ車体 産農田中央研究所 産農田自動車 産トヨタ70周年記念プロジェクト ダイハツ工業 東三互 トヨタ自動車東日本 産業機械化 トヨタ自動車九州 産業機械化 日野自動車 アイシン・エイ・ダブリュ マシントレーディング 豊田通商 トヨタ自動車 東洋一大阪自動車有限会社 産アパシー 広汽長豊汽車有限会社 豊田合成 天津神技治具設備有限公司 官庁、学校他

事業紹介

多彩な技術から生まれる、
幅広い事業とシナジー効果。



SERVICE SUPPORT サービス・サポート

- + マニュアル編集
- + デジタルコンテンツ
- + オンデマンド印刷
- + マルチアークアップ

PRODUCTION SUPPORT プロダクション・サポート

- + 自動車生産設備
- + 生産準備支援
- + ロボットライティング
- + 工場内物流システム
- + 組立検査装置
- + 電子応答部品

ものづくり &
未来づくりを
支える存在として、
多彩な事業を
展開しています。

ものづくりも、
未来づくりも。

TECHNOLOGY BY SYNERGY



代表取締役社長
吉村 和彦 Yoshikazu Takahashi

企業理念

小さくても、
キラリと光る企業

私たちは「プロダクション・サポート」と「サービス・サポート」を柱として、自動車生産設備の開発や、電子・電気応用製品の開発、マニュアル編集、デジタルコンテンツの制作など、幅広い事業を展開しています。こうした幅広い事業を有機的に組み合わせることができる「総合力」が、私たちの強みです。

日々進化を続ける自動車産業において、お客様と連携し、技術的な課題を解決し、お客様の生産性を向上させることが私たちの使命です。また、お客様の課題を解決するために、お客様の現場に合わせたソリューションを提供し、お客様の課題を解決し、お客様の生産性を向上させることが私たちの使命です。

